

第 33 回テーマ

## 企業の成長戦略を示そう！

2010 年度の予算案が通過したニュースを受けて、政策の目玉を受けた「こども手当」の動向についてかなり注目している企業オーナーも多い。「実際は貯金に回るだろう」という悲観的な意見もあるが、注目しているのは消費に対するムードの高揚だ。個人的には若干の期待を持っていても良いと思う。

とはいえ、冷静に現実を見るとどうだろう。バラマキとの批判とともに、環境問題や雇用問題、福祉の問題など経済状況に関連する問題は山積みだ。ここからビジネスのヒントを紐解くのは非常に難しい。まだまだ 1 年以上は景気浮揚のキッカケは掴めないのかも知れないが、景気が上向いた時に競合他社よりも少しだけ「前に出ている」事が重要だ。未来の着地点を見据えて、今の自社のポジションを優位に維持していく事が大事だろう。

基本はマーケティングの充実だ。テクニックや技術論はもちろんだが、一番大事なのは「お客様が喜ぶ事」を考え、忠実に、シンプルに提供できる体制が重要ではなからうか？今の時代、お客様が喜ぶ事は何か？...自社の事業領域にとらわれることなく、自由なアイデアと発想が重要と思う。

例えば飲食業でも「味」や「雰囲気」、「価格」という商品の構成要素だけではなく、お客様の期待を上回る効果を演出する事が重要だ。料理を提供するという枠を超えて、総合的に「プロデュース力」もまた、大事な付加価値となるだろう。

そして組織には明確な「成長戦略」を提示すべきで、混沌とした時代で多くの不安やストレスを抱える社会構造の中は、経営者の強烈なリーダーシップが必要だ。「成長できる・可能性がある」という事を体感できれば、組織はイノベーションを繰り返す事ができる。この 4 月から新事業年度に突入するが、是非、成長戦略を示してもらいたいものである。